

園児等が感染者等に特定された場合の対応

別紙2

段階	園児又は教職員の感染等の状況	対応・対策等						
1	感染者、濃厚接触者なし	通常通り						
2	濃厚接触者に特定 ※ 同居の家族の感染が確認された場合など	<p>◆濃厚接触者が陽性の場合に備えて、園長および副園長で協議し対応を検討、決定。 現状を保育・幼稚園課へ報告。必要に応じて幼稚園協会、県私学振興課へ報告。</p> <p>○濃厚接触者は、出席停止（教職員の場合は勤務させない。以下同じ）、PCR検査実施。</p> <p>①濃厚接触者の PCR 検査結果 險性 → ・ 濃厚接触者は、2週間の出席停止</p>						
3	感染者に特定 ※ PCR 検査結果が陽性	<p>◆緊急な場合は、園から保健所による濃厚接触者の範囲の特定や検査に必要な日数・範囲を聴取し、臨時休園等（以下ア～ウ）を検討し、園長および副園長で協議し、結果を職員へ指示。 時間的に可能であれば、保健所、園医等に相談の上、今後の対応を決定。 (濃厚接触者の特定に時間を要しない、濃厚接触者がいない等の場合においては、必ずしも臨時休園の必要はない。)</p> <p>ア 該当園を休園 イ 感染者の在籍学級（学年）を学級（学年）閉鎖 ウ 関係者を出席停止など</p> <p>○感染者は、医師の許可が出るまで出席停止。</p> <p>※感染経路の究明、濃厚接触者の特定（保健所）。</p> <p>◆その後の対応について、保健所、園医、の意見を参考に、園長および副園長で協議、決定。 (例として、以下①～③のような状況、対応が考えられる。)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 感染経路が判明しており、園外で感染したことが明らかで、接触者が少なく、極めて感染拡大の恐れが少ない。</td> <td> ・原則として、休園、学級（学年）閉鎖は行わない。休園等の措置をしている場合は解除。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。 </td> </tr> <tr> <td>② 濃厚接触者は複数いるが、感染経路が判明して、接触者が少ないなど、感染拡大の恐れはそれほど大きくない。</td> <td> ・原則として、休園、学級閉鎖等の解除。ただし、段階的な再開や感染の可能性のある学級・学年等集団の出席停止を継続することはある。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。 </td> </tr> <tr> <td>③ 感染経路が判明しておらず、園内で複数の感染者が出ており、接触者が多く、極めて感染拡大の恐れが大きい。</td> <td> ・休園または感染の可能性のある学級・学年集団は出席停止継続（登園再開の目安は2週間）。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。 </td> </tr> </table>	① 感染経路が判明しており、園外で感染したことが明らかで、接触者が少なく、極めて感染拡大の恐れが少ない。	・原則として、休園、学級（学年）閉鎖は行わない。休園等の措置をしている場合は解除。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。	② 濃厚接触者は複数いるが、感染経路が判明して、接触者が少ないなど、感染拡大の恐れはそれほど大きくない。	・原則として、休園、学級閉鎖等の解除。ただし、段階的な再開や感染の可能性のある学級・学年等集団の出席停止を継続することはある。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。	③ 感染経路が判明しておらず、園内で複数の感染者が出ており、接触者が多く、極めて感染拡大の恐れが大きい。	・休園または感染の可能性のある学級・学年集団は出席停止継続（登園再開の目安は2週間）。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。
① 感染経路が判明しており、園外で感染したことが明らかで、接触者が少なく、極めて感染拡大の恐れが少ない。	・原則として、休園、学級（学年）閉鎖は行わない。休園等の措置をしている場合は解除。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。							
② 濃厚接触者は複数いるが、感染経路が判明して、接触者が少ないなど、感染拡大の恐れはそれほど大きくない。	・原則として、休園、学級閉鎖等の解除。ただし、段階的な再開や感染の可能性のある学級・学年等集団の出席停止を継続することはある。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。							
③ 感染経路が判明しておらず、園内で複数の感染者が出ており、接触者が多く、極めて感染拡大の恐れが大きい。	・休園または感染の可能性のある学級・学年集団は出席停止継続（登園再開の目安は2週間）。 ○濃厚接触者は、2週間出席停止。							

